

令和7年度 次世代創出PBL推進事業  
**実施報告書【地域創造推進実践校用】**

学校番号	36
学校名	富山県立南砺平高等学校

重点課題	地域学校協働活動を軸とした教育活動の実践	
課題設定の趣旨	本校では、従来より五箇山地域の自然や文化を肌で感じる体験活動やフィールドワークなどの校外学習を通して五箇山の魅力を知り、特に総合的な探究の時間における「五箇山探究」で、1年次から3年次までのそれぞれにおいて調査や研究を行っている。令和4年度から導入のコミュニティスクールとしての地域との連携を活かして、本校独自の魅力的な教育活動の充実を図る。	
中長期ビジョンを実現するための今後の重点事項	五箇山地域の魅力発信を軸に、地域と連携した多様な体験活動を展開する。学校全体で地域への理解を深めるとともに、より実践的な地域課題を自ら設定し、住民や関係機関との協働を通じてその解決に挑む探究的な学びを推進していく。	
実施内容 (具体的に記入する)	<p>1年生 前半は五箇山地域についての学習や体験活動を行った。合掌造り集落の見学や屋根材となる茅刈りを体験し、歴史、文化、産業への理解を深めた。後半は五箇山民謡について集中的に学び、「麦屋節」と「こきりこ」の唄、踊り、楽器を各生徒が分担して習得した。地域住民を直接指導者に招く学校・地域連携の授業を通し、郷土芸能の精神を肌で感じる実践を展開した。</p> <p>2年生 前半は台湾の文化や伝統、社会のしくみ等と自国の現状を対比させ、自地域の特色を客観的に認識する活動を行い文化発表会にて発表した。また、探究のプロセス(課題設定・情報収集・整理分析・まとめ)を確認した。後半では、地域社会の現状を調査し自己の関心に基づき地域社会の課題を設定した。他者と協働して新たな価値を創造する活動に取り組んだ。</p> <p>3年生 五箇山地域の魅力発信に向け、5つの班に分かれてプロジェクトを進めた。合掌造り集落における観光発展や持続可能な地域づくりを目指し、現地での聞き取り調査や住民のアドバイスを反映させながら、「イベント企画」「お菓子開発」「マナー・人口減少対策」「模型製作」等に取り組んだ。実社会とつながる実践的な活動を通し、地域社会への貢献と成果の発信を目指した。</p>	
取組の成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	<p>・地域との連携・協働という観点では、地域と学校がWin-Winの関係のもと、多くの地域人材に上記探究プロジェクトに参画してもらっており、大きな教育効果がある。教職員だけでは到達し得ない専門的な指導を地域人材から直接受けることで、生徒の課題設定がより具体的かつ高度なものにすることができる点では学校に大きなメリットがあるとともに、高校生の若きパワーを求める地域事業の応援という点では、地域にとってもメリットが大きい。</p> <p>・異世代の地域住民や外部専門家との協働プロセスにおいて、単なる「ふれあい」を超えた意見交換の機会が創出された。自分たちとは異なる視点や価値観に触れることで、多角的に物事を捉える力を養うことができる。今後は地域を出発点にしつつも、世界や未来を見据えた大きな視野で探究活動が進められればなお大きな成果につながるものと思われる。</p>	
対象者(学年・人数など)	全校生徒(1学年:21人、2学年16人、3学年:22人)	
実施実績	4月	地域の自然・文化活動体験(1年)、課題設定ワークショップ(2年)、地域魅力発信・課題解決プロジェクト(3年)
	5月	地域の自然・文化活動体験(1年)、課題設定ワークショップ(2年)、地域魅力発信・課題解決プロジェクト(3年)
	6月	地域の自然・文化活動体験(1年)、課題設定ワークショップ(2年)、地域魅力発信・課題解決プロジェクト(3年)
	7月	地域の自然・文化活動体験(1年)、課題設定ワークショップ(2年)、地域魅力発信・課題解決プロジェクト(3年)
	8月	
	9月	地域の自然・文化活動体験(1年)、課題設定ワークショップ(2年)、地域魅力発信・課題解決プロジェクト(3年)
	10月	<中間発表>(1・2年)、<成果発表>(3年)
	11月	郷土芸能体験(1年)、地域の課題解決プロジェクト(2年)
	12月	郷土芸能体験(1年)、地域の課題解決プロジェクト(2年)
	1月	郷土芸能体験(1年)、地域の課題解決プロジェクト(2年)
2月	<成果発表>(1・2年)	
3月		